

大統領が彼に投票したのは間違いだったのか？娘は父親に10万台湾ドルを求めて訴訟を起こした。

Youtubeからのビデオ

大統領が彼に投票したのは間違いだったのか？娘は父親に10万台湾ドルを求めて訴訟を起こした。

台湾桃園市のリンという姓の女性は、2020年の総統選挙ではジェームス・スン氏に投票すると語った。意外なことに、それを聞いた父は、そんなことをするのは票の無駄だ、と親戚や友人の前で叱責していたそうです。父親と娘が不仲になり、娘は不満を抱き、父親を裁判に訴えた。父親は、自分の感情や意見を表現するために、他人の人格を否定してはなりません。父親は10万元の賠償金を要求しただけでなく、90度のお辞儀をして謝罪するよう求めたが、地裁は娘が父親の明らかな虐待を証明できなかったとして、訴訟を棄却する判決を下した。

台湾では、どのような言葉による攻撃が台湾の「刑法」に違反するのでしょうか？当事務所は、台湾の「刑法」を調べました。台湾の「刑法」第 309 条によると、公の場で他人を侮辱する罪は、公然と他人を侮辱した者は刑事罰に処せられます。拘留または 300 元以下の罰金 (第 1 項)。前項の強姦罪を犯した者は、1年以下の有期懲役、短期拘留、又は500元以下の罰金に処される (第2項)。台湾地方裁判所は、何が公の侮辱罪に該当し、何が公の侮辱罪に該当しないのかをどのように判断しているのでしょうか？当事務所では、参考までに以下の3つの台湾の裁判所の判決事例を用意しました。

公然侮辱罪の構成: 台北地方裁判所判決第 1623 号および第 272 号:

では、上記の台湾裁判所の判決で使われた「罵り」という言葉は、大陸でも侮辱罪に該当するのでしょうか？刑法第246条：侮辱罪とは、公然と他人を侮辱し、又は事実を捏造して、暴行その他の方法により他人を誹謗中傷することをいいます。情状が重大な場合、犯罪者は3年以下の有期懲役、刑事拘留、公衆監視、または政治的権利の剥奪に処される。前項の犯罪は、社会の秩序や国益を著しく害するものを除き、告訴があった場合にのみ処理されます。被害者が情報ネットワークを通じて第1項に規定する行為を犯し、人民法院に通報したものの、証拠の提出が極めて困難な場合、人民法院は公安機関に援助を要請することができる。中国判決文書オンラインに掲載された侮辱罪の有罪判決を見てみましょう。本土裁判所による侮辱罪の判決の根拠は次のとおりです:

侮辱罪を構成する刑事判決文書 (2017) 四川省 0181 興中第 666 号:

この法廷では、張被告、張一被告、張二被告、鄧被告、袁被告が、人口密集地で被害者のブラジャーの紐を力づくに外し、ズボンを下ろし、下半身を露出させる暴力的手段を使用したと判示した。他人に対するあからさまな侮辱で、群衆が見たり写真を撮ったりする原因となり、公共の混乱を引き起こし、被害者の個人の尊厳を著しく傷つけ、社会的に悪影響を及ぼした。被告5人は重大な状況下で公然と他者を侮辱しており、侮辱罪で刑事責任を問われ処罰されるべきだ。

侮辱罪を構成する刑事判決文書 (2019) Ji 0721 Xingchu No. 404:

事件の原因：2019年7月19日夜、被告の宋曉（妻）は孫曉敏（夫）の携帯電話に

周（私立検察官）の携帯電話番号が入っていることを発見し、周私立検事とその夫孫興敏との間に不当な男女関係があったため、同年7月21日と8月3日、周私立検事の家を訪れたり、公然と私立検事を侮辱したりした。同年8月5日、彼と彼女の夫 Sun Xmin は村の WeChat グループにメッセージを投稿しました（メンバー77人）が私設検察官を侮辱しました。同裁判所は、宋暁被告が公の場やWeChatグループ内で他人を繰り返し侮辱し、他人の人格をあからさまに軽視し、名誉を毀損したとして、状況は深刻であり、彼の行為は他人の個人の尊厳と名誉権を侵害しており、侮辱罪に当たると判示した。・私立検察官の告発事実は明らかであり、証拠は信頼でき十分であり、犯罪は有罪と認定されており、当法廷はこれを支持している。Sun Xmin 氏に関しては、犯罪は軽微であり、侮辱罪にはなりませんでした。

上記の事例からわかるように、公共の場における暴力、身体的衝突、悪質な言葉による攻撃、嘲笑、侮辱、公の場で相手を当惑させる等の行為は、検察官の自尊心を著しく傷つけ、重大な損害を与えるものである。人格と名誉を傷つける損害は耐え難いものであり、状況は侮辱罪を構成するのに十分に重大である。それどころか、刑事判決（2019）Hu02 Xingzhong No. 1697 は侮辱罪を構成していません。

控訴人の江X平氏は、上海静安区人民法院の侮辱事件における刑事判決（2019年）胡0106興中第1417号を不服として、当裁判所に控訴した。同裁判所は検討の結果、刑法の規定によれば、侮辱罪とは暴力その他の方法により公然と他人を侮辱する行為を指し、情状は重大であると判示した。刑事訴訟法の関連規定によれば、侮辱事件は人民法院が直接管轄する私訴事件であり、私訴検察官が人民法院に私訴を提起する場合、被告の犯罪事実を証明するのに十分な証拠を提出しなければならない。・控訴人（原審では私設検察官）が提出した証拠資料は、沈星明の行為が侮辱罪に該当することを証明するには不十分であり、刑事私訴事件の受理要件を満たしていない。第一審裁判所の非許容の判決は不適切ではなく、当裁判所もそれを支持した。控訴人の控訴理由は支持できず、当裁判所は受理しないであろう。したがって、中華人民共和国刑事訴訟法第240条の規定に従い、判決は次のとおりである。控訴は棄却され、原判決が支持される。

侮辱罪を構成しない刑事判決（2021年）民07興中第82号： -

控訴人チェン・シュロンが張氏を告発した場合 控訴人の陳曉龍氏は、侮辱罪は暴力行為だけを指すものではなく、言葉、文章、写真などを用いて被害者の面前で公然と被害者の人格を貶め、名誉を毀損する行為も侮辱罪に当たると主張し、控訴した。控訴人は、張Xは皇帝の親戚であり、国の親戚であると述べたが、張Xは公然と控訴人を野獣と呼んだ。二審裁判所に対し、原判決を取り消し、事件を第一審裁判所に差し戻して審理し、張X氏を侮辱罪で刑事責任を問うよう請求する。検討の結果、当裁判所は、私設検察官が人民法院に私訴を提起する場合には、被告の犯罪事実を証明するのに十分な証拠を提出すべきであると考えている。2020年12月17日、Chen XlongとZhangは名誉を傷つける行為を行いました。Zhang Xの行為が刑法で規定されている重大な結果を引き起こしたことを証明する証拠はありません。この事件で控訴人（原審では私立検察官）が提出した証拠は、張Xの行為が侮辱罪を構成することを証明するには十分ではない。「中華人民共和国刑事訴訟法の適用に関する最高人民法院の解釈」第259条第4項によると、人民法院が私訴事件を受理するために満たさなければならない条件は次のとおりです。明確な被告、特定の訴訟請求、および被告の犯罪事実を証明する証拠。」陳雪龍氏の私訴は法律で定められた刑事私訴受理の条件を満たしておらず、第一審裁判所は事件を却下するのは不適切ではないとの判決を下した。要約すると、控

訴人の控訴理由は支持できず、当裁判所は控訴を支持しない。したがって、中華人民共和国刑事訴訟法第 240 条の規定に従い、判決は次のとおりである。控訴は棄却され、原判決が支持される。。

上記の事例からわかるように、私立検察官が提供した証拠が被告の行為が侮辱罪を構成することを証明するのに不十分な場合、裁判所は通常、刑事判決の形で容認できないとの判決を下すことになる。

要約すると、本土で被告の行為が侮辱罪に該当するとみなされる場合、それは露骨かつ重大なもの（本人の身体や個人の尊厳を傷つける行為）でなければならず、たった一言やフレーズによる単純な攻撃であれば、侮辱罪を構成するには不十分です。

参考法規定:

刑法第246条：侮辱罪とは、公然と、暴行その他の方法により人を侮辱し、又は事実を捏造して人を誹謗中傷することをいいます。情状が重大な場合、犯罪者は3年以下の有期懲役、刑事拘留、公衆監視、または政治的権利の剥奪に処される。前項の犯罪は、社会の秩序や国益を著しく害するものを除き、告訴があった場合にのみ処理されます。被害者が情報ネットワークを通じて第1項に規定する行為を犯し、人民法院に通報したものの、証拠の提出が極めて困難な場合、人民法院は公安機関に援助を要請することができる。

「中華人民共和国刑事訴訟法の適用に関する最高人民法院の解釈」第 259 条第 4 項は、人民法院が私訴事件を受理するために満たさなければならない条件を次のように規定している。明確な被告、具体的な訴訟請求、および被告が人の犯罪を証明しているという証拠。」